

日本自動車整備振興会連合会(日整連、橋本一豊会長)は10日、「第20回全日本自動車整備技能競技大会」を開催し、福岡県自動車整備振興会チームの谷口修平選手、常岡兼次選手が優勝した。福岡県チームの優勝は1997年の第11回大会以来、9大会ぶりの3度目。第20回という節目の大会にも名を刻むことになった。谷口選手、常岡選手は日常業務の積み重ねや大会前の訓練、前回出場の際で「競技が終えたとき、結果に自信があった」と口をそろえた。

(電子版で一部既報)

◇

全国の自動車整備振興会を代表する53チーム106人が東京ビッグサイト(東京都江

全日本自動車整備技能競技大会



福岡県チームが3度目のV

東区)に集い、日本一を目指す車の整備ニーズに備えるかたとして技術力や対応力を競った。変わらないのは全不安といえは納車説明で何がたら優勝できるかもしれない

た。出場チームを国から駆けつけた応援団。設A、Bの2フロックに分け、実技競技、基礎競技、アキ、選手たちにエールを送った。出場チームを国から駆けつけた応援団。設A、Bの2フロックに分け、実技競技、基礎競技、アキ、選手たちにエールを送った。

三つを90分以内に実施。合計得点(1千点満点)で順位を決めた。谷口修平選手(32歳)は写

今回は競技車両に初めて軽自動車(ホンダ「N-B OX」)を導入。近年、急速に販売場、場の雰囲気慣れていたことを優勝できた要因だ。練

競技車両に初めて軽採用

という自信はあったが、いざ名前を呼ばれたときには言葉にできない喜びがあった。練習通りできたときがあるし、考えていたペース配分で終えられた。最後に15分を残して納車説明に入るといふ計画がきれいに入れた。今回の経験は、これからの仕事に生かすために勉強になった。やはり、分らないことがあれば調べるという興味を持つことが大事。ここで優勝した経験を会社や支部に還元したい」

◇

大会結果は次の通り(振興会名・得点。カッコ内は所属先)。

優勝▽福岡・970点、谷口修平(藤壺自動車工業)、常岡兼次(西鉄エム・テック)

準優勝▽岐阜・951点、浅野道昭(可児自動車整備協業組合)、丹羽慶一(同)▽3位▽島根・923点、田中賢(島根自動車整備工場)、小川和良(小川自動車)▽4位▽兵庫・920点、山下一志(正城自工)、西山郡胤(同)▽5位▽栃木・917点、植木啓之(植木自動車工業)、山本雅史(山本自動車販売)▽6位▽埼玉・910点、白石信吾(トイサイト第一工場)、永野雅文(同)▽7位▽秋田・905点、木元崇文(木元自動車興業)、高橋祐(中安自動車)▽8位▽愛知・888点、中村慎吾(新明工業セブタ)前田、濱口慎太(同)